

平成30年6月1日

貧酸素水塊速報 (2018年)

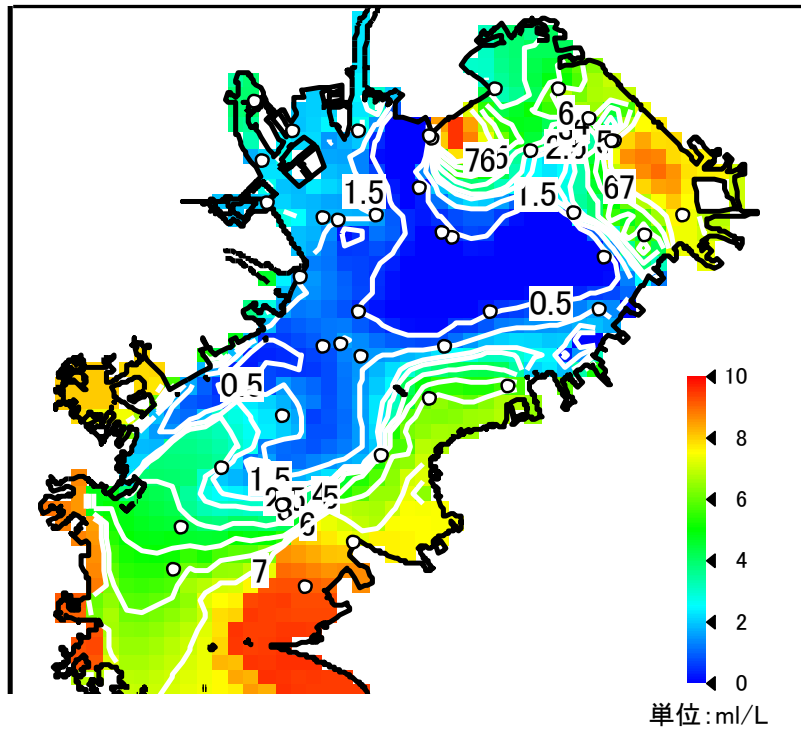
【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター ○内湾底びき網研究会連合会

【協力】 ○千葉県環境研究センター ○東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (国)国立環境研究所
 ○モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成30年5月29日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

貧酸素水塊は、先週より分布域が拡大し、内湾北部の中央付近に分布しています。アクアライン北側の水深15～20mの海域では、溶存酸素量が0.5mL/L以下の強く貧酸素化した水塊がみられています。今後はこの水塊の動きに注意が必要です。水温は表層20～22℃、底層16～21℃です。



底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30～40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	